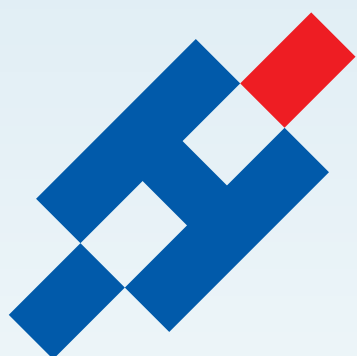




未来を、ひろげる。

HIROGIN
HOLDINGS

2020年9月期 ミニディスクロージャー誌 （営業の中間ご報告）

HIROGIN HOLDINGS REPORT

経営理念（経営ビジョン+行動規範）

経営ビジョン

お客さまに寄り添い、信頼される〈地域総合サービスグループ〉として、
地域社会の豊かな未来の創造に貢献します

行動規範

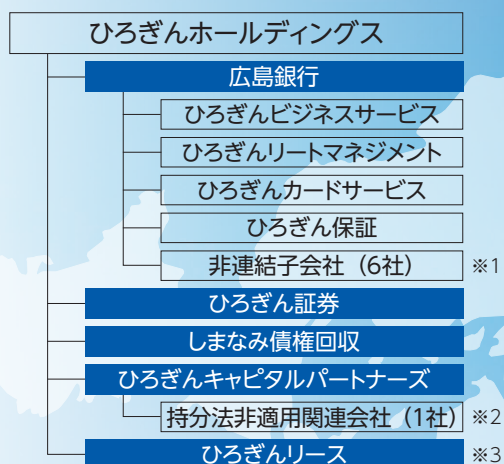
ひろぎんホールディングスは、5つの行動規範に基づいて、地域社会と共に共通価値を創造し、
持続可能な社会の実現に努めます

- ① 地域社会と共に歩み、その発展に積極的に貢献します
- ② お客さまの視点に立って考動し、豊かな人生と事業の成長に貢献します
- ③ 企業価値の持続的な向上に努めます
- ④ 誰もが健康で明るく働きがいのある企業グループをつくります
- ⑤ 高いレベルのコンプライアンスを実践します

CORPORATE DATA（2020年10月1日現在）

商 号	株式会社ひろぎんホールディングス
本店所在地	〒732-0804 広島市南区西蟹屋一丁目1番7号
設立日	2020年10月1日
資本金	60,000百万円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7337
ホームページ	https://www.hirogin-hd.co.jp/

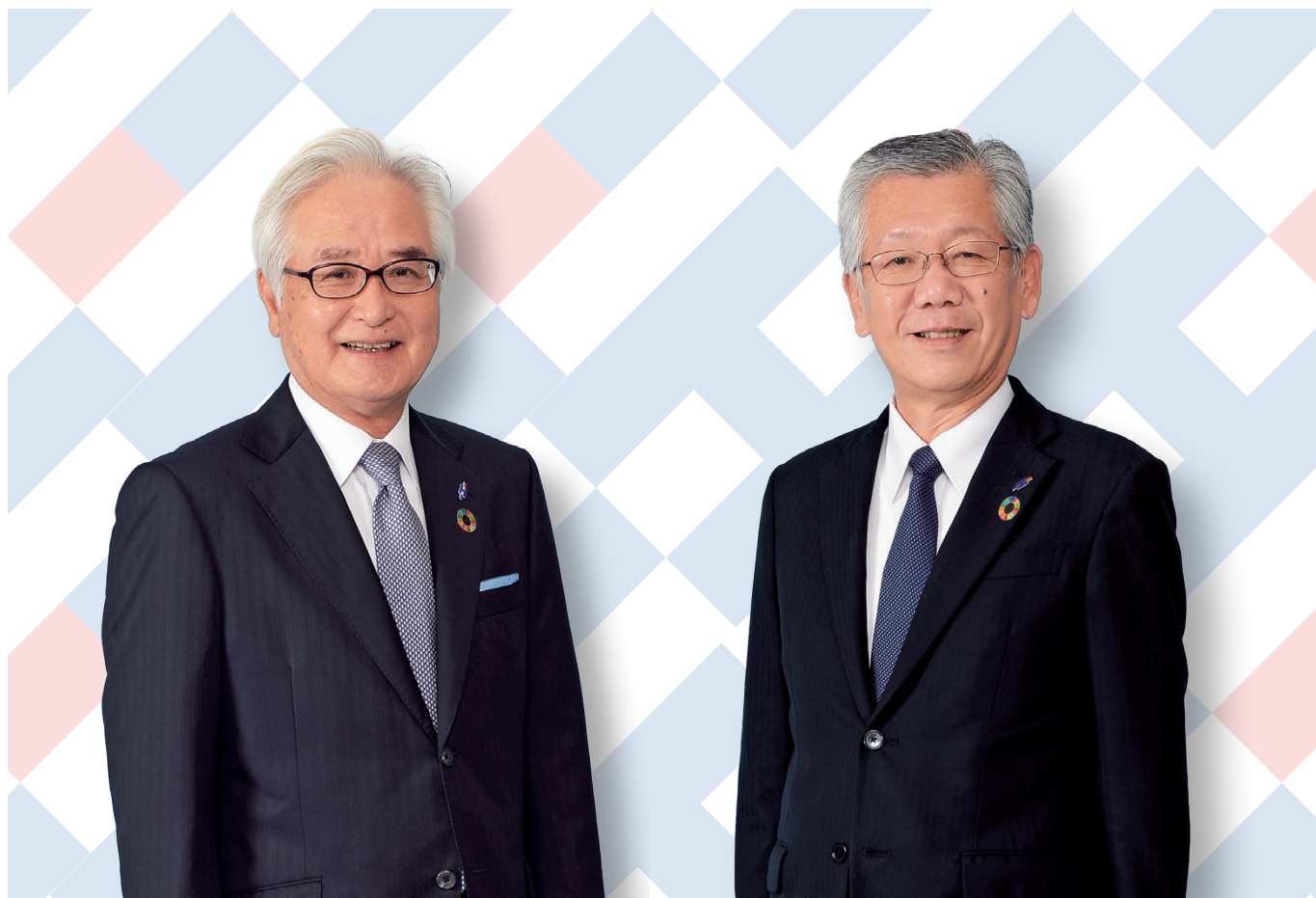
ひろぎんホールディングス グループ体制（2020年10月1日現在）



※1 非連結子会社…ファクタリング会社1社・
投資事業有限責任組合5社

※2 持分法非適用関連会社…地域商社事業会社1社

※3 ひろぎんリース…持分法適用関連会社



代表取締役会長 いけ だ こう じ
池田 晃治

代表取締役社長 へ や と し お
部谷 俊雄

皆さま方には、平素よりひろぎんグループに対し、ご理解とご支援を賜り、誠に有り難うございます。

さて、当グループは、多様化・複雑化・高度化するお客さまのニーズに対し、非金融分野を含め、あらゆる課題の解決に徹底的に取り組む「地域総合サービスグループ」を目指して、本年10月1日、持株会社体制に移行し、新たに「ひろぎんホールディングス」を設立しました。

これもひとえに、株主やお客さまを始めとしたステークホルダーの皆さま方の温かいご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

持株会社におきましては、経営ビジョンに「お客さまに寄り添い、信頼される〈地域総合サービスグループ〉として、地域社会の豊かな未来の創造に貢献します」を掲げました。

新たなグループ経営形態のもと、これまで培ってきたリレーションをベースに、グループシナジーを最大限発揮する中、付加価値の高いソリューションを提供し、「地域社会およびお客さまへの更なる貢献」と「ひろぎんグループの持続的成長および企業価値の向上」の実現を目指してまいります。

また、持株会社をグループ経営の管理・監督に特化させ、経営の監督と業務執行の分離を図ることで、グループ経営管理の強化および実効性の高いグループガバナンスを構築してまいります。

新しい時代に向かって、グループ一丸となって地域の発展とお客さまに貢献してまいりますので、共に夢を描き続け「未来を、ひろげる。」仲間として、新生ひろぎんグループにご期待いただきたいと思います。

今後とも、より一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



お客さまに寄り添い、信頼される
〈地域総合サービスグループ〉として、
地域社会の豊かな未来の創造に貢献します

代表取締役社長 **へや としお**
部谷 俊雄



持株会社体制への移行について

1878年（明治11年）に尾道で創業した国立銀行・第六十六銀行を前身とする広島銀行は、広島県を中心とした地元4県（岡山・山口・愛媛）を中心に経営ビジョンである「地域社会との強い信頼関係で結ばれた、頼りがいのある〈ひろぎんグループ〉を構築する」を目指し、地元のお客さまの課題解決に向けて取り組んでまいりました。

しかしながら、地域金融機関をとりまく経営環境は、人口減少に加え、異業種からの参入による競合激化、経済・社会情勢やライフスタイル・価値観の変化

等を背景としたお客さまニーズの多様化・複雑化・高度化、さらには、急速なデジタルトランスフォーメーションの進展を受け、大きく様変わりしています。こうした環境変化への柔軟かつ的確な対応に加え、地域社会における豊かな未来の創造に貢献していくため、2020年10月1日、ひろぎんグループは、持株会社体制という新たなグループ経営形態に移行し、「ひろぎんホールディングス」として生まれ変わりました。

持株会社体制においては、140年を超える長い歴史の中で培われてきた“ひろぎん”ブランドのもと、グループシナジーを最大限発揮し、金融は勿論、非金融分野を含めたお客さまのあらゆるニーズにお応えできる「地域総合サービスグループ」として、今後も地域

● 持株会社体制におけるビジネスモデル



のお客さまとともに成長し続けることで、企業価値の向上を図り、株主やお客さまを始めとしたステークホルダーの皆さま方の未来をひろげていきたいと考えております。

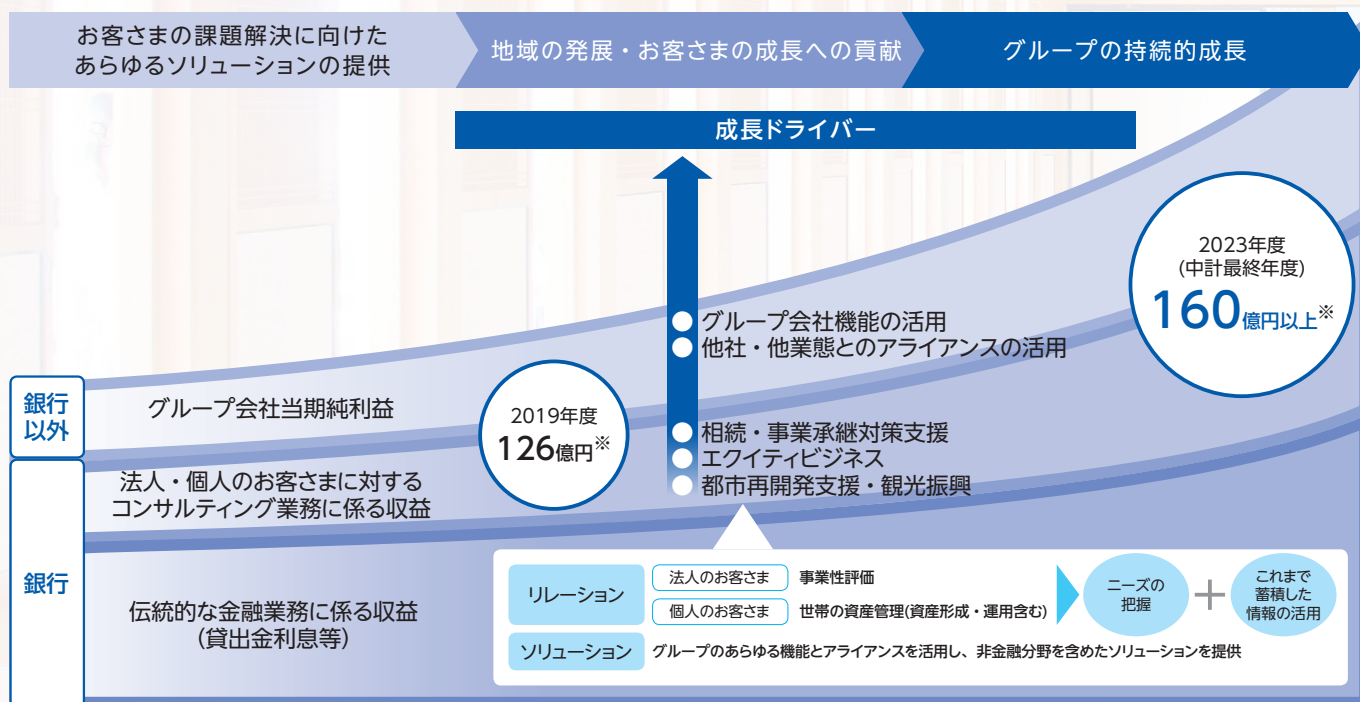
持株会社体制におけるビジネスモデル

ひろぎんグループでは、これまで培ってきたお客さまとの確固たる信頼関係に基づいた強固な「リレーション」とグループ各社が持つ多種多様な「ソリューション」こそが、他社との差別化、すなわち競争優位の源泉であると捉えています。

持株会社体制においては、経済規模や成長機会ともに大きなポテンシャルのある地元4県のマーケットにおいて、今まで以上に地域社会・お客さまのニーズや課題を知ること、「リレーション」を深め（顧客軸の深化・拡大）、そして、そのニーズへの対応や課題解決に向け、金融に留まらない付加価値の高い「ソリューション」を提供（業務軸の深化・拡大）してまいります。

このような取組みを着実に進め、グループの持続的成長を通じた地域における更なるリスクテイクを可能とする盤石な経営基盤を構築し、地域の発展・お客さまの成長に貢献する好循環を生み出していきたいと考えております。

●「中期計画2020」における成長ドライバー（成長戦略）



※ 法人・個人のお客さまに対するコンサルティング業務に係る収益およびグループ会社当期純利益の合計
グループ会社当期純利益とは、銀行を除く連結子会社の当期純利益および持分法適用関連会社の当期純利益に出資比率を乗じた額の合計

成長ドライバー

「中期計画2020」においては、預貸金ビジネスを中心とした従来の金融分野の取組みに加えて、相続・事業承継対策支援やエクイティビジネス等への取組みを強化するなか、グループ会社のあらゆる機能や他社・他業態とのアライアンスの活用により、非金融分野を含めたソリューションの提供を通じて、グループの持続的成長を実現してまいります。

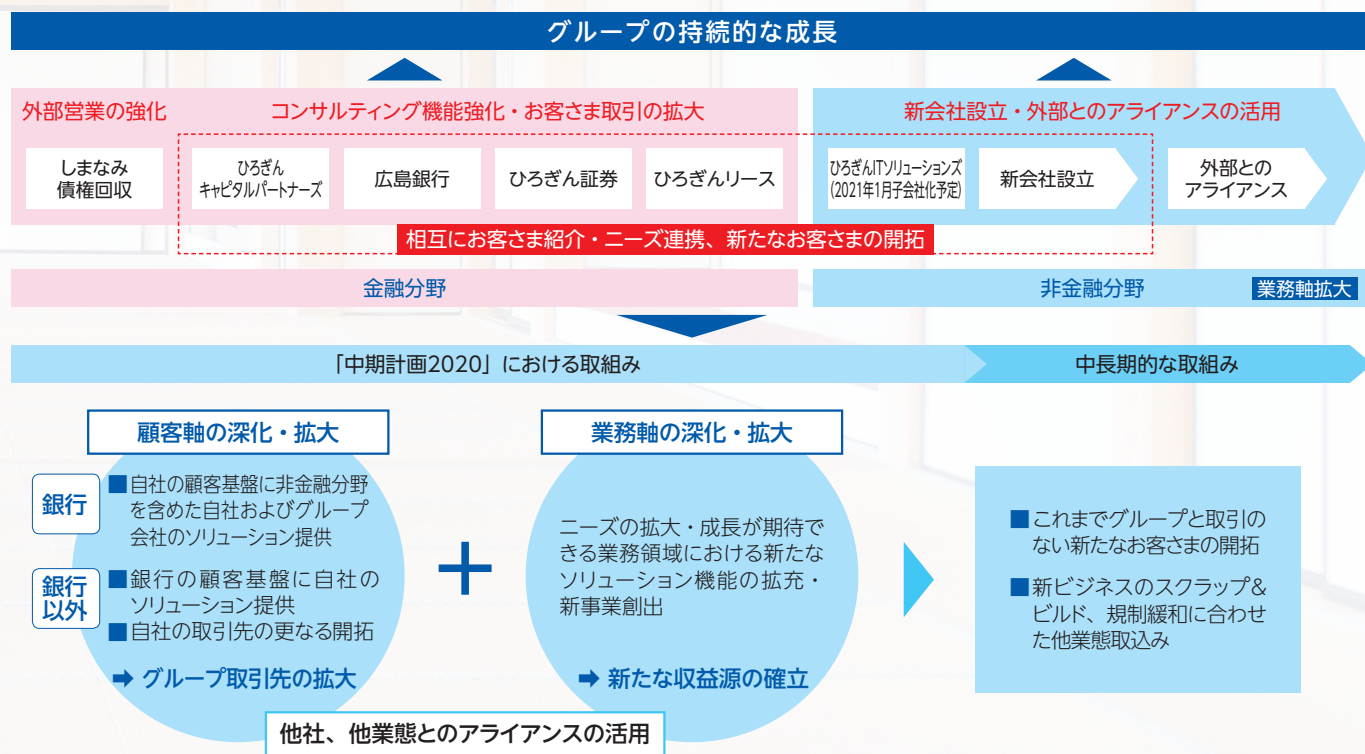
これまでの体制では、どうしても銀行を中心とした見方や発想となりがちでしたが、今後は、銀行中心の意識・行動から脱却するとともに、マーケットインの

意識のもとで銀行におけるコンサルティング機能やグループ会社機能のさらなる拡充を積極的に進めてまいります。

グループ連携強化を通じた業務領域の拡大に向けて

ひろぎんホールディングスは、直接出資会社として傘下に広島銀行、ひろぎん証券、しまなみ債権回収、ひろぎんキャピタルパートナーズ、ひろぎんリースを設置し5社体制でスタートしました。2021年1月には、IT関連事業を行う「ひろぎんITソリューションズ」の子会社化（マイティネットとの共同出資）を予定しています。

● グループ連携強化を通じた業務領域の拡大に向けて



地元企業においても、新型コロナウイルス感染症拡大による新しい生活様式への対応に向け、業務の効率化や生産性の向上は今まで以上に求められており、そうしたニーズや課題に対し、マイティネットが持つIT技術力と私たちがこれまで事業性評価等によって培ってきた目利き力を活かし、地元企業の持続的な成長をIT面から積極的にサポートしてまいりたいと考えております。

今後とも、持株会社体制における取組みの軸として、グループ各社における相互の顧客紹介やニーズ連携に加え、新会社設立や外部とのアライアンスを活用した非金融分野における取組みを拡大する等、顧客軸・業務軸を深化・拡大させてまいります。

新しい時代に向かって未来をひろげ、共に夢を描き続ける仲間として、今後のひろぎんグループにご期待いただきたいと思います。

地域社会の豊かな未来の創造に貢献

広島銀行



広島の地で140年以上。

お客さまとともに、地域の未来をひろげます。

設立日 1945年5月1日 本店所在地 広島市南区西蟹屋一丁目1番7号（仮店舗）
（創業 1878年11月29日）

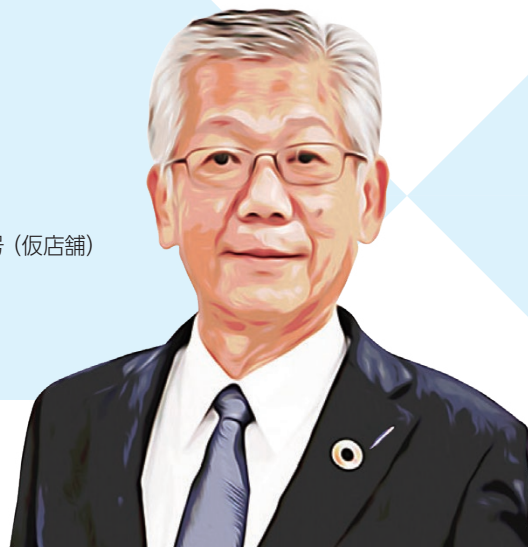
ホームページ <https://www.hirogin.co.jp/>



HPはこちらです

代表取締役頭取

へ や としお
部谷 俊雄



Close Up 「広島銀行」のセールスポイント

Point 1

真のマーケットインを
実践

当行の強みは、法人のお客さまに対する事業性評価や個人のお客さまにおける世帯管理を通じた強固なリレーションと長い歴史の中で培ってきた情報の蓄積です。

事業性評価につきましては、自動車や造船など特色のある産業が集う当地において、従前よりその産業動向や事業内容の理解および課題解決支援に取り組み、知識と経験を蓄積してきました。属人的になりがちな「目利き」の知識と経験を、組織として活用できるよう体系化しており、この「事業性評価」を軸として融資や本業支援を実践し、お取引先の成長や新たな事業創出を支援することで、地域の活性化と持続的な経済発展に寄与してまいります。

また、少子高齢化や後継者不足を受け、更なるニーズの高まり

Point 2

お客さまとの
強固なリレーション

が想定される相続・事業承継分野において、強固なリレーションに基づく金融に留まらないソリューションを提供するとともに、相続・事業承継を契機とした後継者や相続人との中長期的なリレーションを構築しております。

加えて、地域の持続的成長に向けたまちづくり・都市再開発支援への取り組みや、お客さまニーズに応じた抜本的なチャネルの見直しおよびデジタルトランスフォーメーション等への取組強化に努めております。

140年を超える長い歴史の中で培われてきた“ひろぎん”ブランドのもと、今後も付加価値の高い金融サービスの提供を中心に、地域やお客さまの課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

Point 3

高度なソリューションの
提供

Voice 地域総合サービスグループとして地域に貢献

持株会社体制への移行により、グループの総合力を発揮する体制が強化されたことで、ご提案の幅が広がりました。

「お客さまのニーズはどこにあるのか」を追求し、ビジネスマッチングやIT支援等、非金融分野も含めた付加価値の高いソリューションを提供します。これまでの「金融といえば」に加えて、「金融以外」のお悩みも広島銀行へご相談ください。

これからはひろぎんホールディングスの一員として、地域社会の発展と企業価値の向上に貢献してまいります。

岡山支店 関根 万純



付加価値の高いコンサルティング提案を！

ひろぎん証券



地域密着型の証券会社として、
お客さまに最適な金融サービスを提供します。

設立日 2008年1月1日 本店所在地 広島市中区立町2番30号

ホームページ <https://www.hirogin-sec.co.jp/>



HPはこちらです

代表取締役社長

かりやだ ふみつぐ
刈屋田 史嗣

Close Up 「ひろぎん証券」のセールスポイント

Point 1

地域密着型
証券会社

Point 2

質の高い
提案力

Point 3

信用第一
信頼第一

当社は、地元で古くからの歴史を有する証券会社として、また、ひろぎんホールディングスの一員として、お客さまに寄り添い、その資産形成を的確にお手伝いすることで地域社会の発展に注力しています。

「貯蓄から資産形成へ」の担い手として、投資に関するお客さまの知識、経験、財産、目的などを十分に把握し、常にお客さまにとって最善となる利益を考慮して行動するなかで、お客さまとともに成長することを目指しております。

2020年4月から従来の対面（営業店）取引にネット取引をプラスし、マルチチャネル化を行い、お客さまとの接点の拡大、一層の営業効率化を進めています。

また、証券業務を通じて、SDGsの達成、持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいます。

人生100年時代を見据え、お客さまのライフステージやニーズに最適な商品の提供、グループの総合力を活かした相続・事業承継等、より付加価値の高いコンサルティング提案に尽力してまいります。

主な
取扱商品

- ① 国内株式 … 現物取引、信用取引、ETF（上場投資信託）、REIT（不動産投資信託）、立会外分売、IPO（新規公開株）、PO（公募・売出し株式）
- ② 外国株式 … 米国市場、アジア市場（タイ、ベトナム、インドネシア、中国など）
- ③ 投資信託 … 国内株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、バランス型
- ④ 債券 … 国内債券（個人向け国債、地方債、事業債）、外国債券（主要国～新興国）、仕組債（日経平均リンク債、EB債等）

Voice 私たちは、お客さまの幸せを追求します

2020年10月1日、ひろぎんホールディングスがスタートしました。これにより当社は、多様化・複雑化・高度化するお客さまのニーズにより幅広くお応えする体制が整いました。当社は「お客さまの資産形成に資する」、「お客さまに喜んでいただく」業務運営を推進します。そして、グループの連携を最大限活用し、お客さまの期待にお応えします。また、地域社会の発展と成長のために行動します。そのために、共に働く社員の成長と、意識・行動改革に真に取り組む、持続的成長および企業価値の向上を目指します。

本店営業部 星野 智哉



未来の架け橋へ

しまなみ債権回収



債権管理回収業務を通じて、
地域経済の発展に貢献します。

設立日 2001年6月1日 本店所在地 広島市中区銀山町3番1号

ホームページ <https://www.hirogin-hd.co.jp/company/group/shimana/index.html>



HPはこちらです

代表取締役社長

おがわ みのる
小川 実



Close Up 「しまなみ債権回収」のセールスポイント

Point 1

豊富な経験を持つ
銀行系サービス

Point 2

西日本に特化した
マーケット戦略

Point 3

地域に根ざした
強固なネットワーク

債権回収会社（サービス）とは、委託を受けまたは譲り受けて債権の管理回収を行う民間会社のことです。1998年に弁護士法の特例を定めるサービス法が制定され、当社のような民間会社を設立することができるようになりました。

当社は2001年の設立以来、広島銀行から委託を受けて貸付債権の管理回収を行うほか、他の金融機関から貸付債権を譲り受けて管理回収も行っております。また、管理回収業務だけでなく、経営改善、事業再生、他の債権回収会社に対する人材育成など、多様な業務の兼業承認を取得しており、蓄積した経験は豊富です。

貸付債権を譲り受けるにあたり、当社は西日本の銀行・信用金庫・信用組合等に特化したマーケット戦略を採っており、譲り受けた後のきめ細やかな管理回収を行っています。近年では、信用金庫や信用組合から、事業再生を企図した債権の譲り受けも増えています。

さらに、当社は金融機関だけでなく、地域における弁護士・公認会計士・不動産鑑定士といった専門家とも強固なネットワークを構築しており、連携をとりながら再生に向けて迅速な支援が可能です。

Voice グループ連携を活かした課題解決力の発揮

2020年10月1日、ひろぎんホールディングスが設立しました。これに伴い、グループ各社と更なる連携を図ることが可能となり、当社が持つ豊富な経験と地域に根ざした強固なネットワークを積極的に活用することで、金融機関をはじめとしたお取引先へこれまで以上に幅広く課題解決に向けたご提案をまいります。

債権管理回収業務を通じて地域経済の発展に貢献することが当社のミッションです。

企画部 中森 一志



ゲームチェンジャー

ひろぎんキャピタルパートナーズ



積極的な投資およびハンズオンによる
「伴走型支援を超えた支援」を目指します。

設立日 2020年4月1日 本店所在地 広島市南区西蟹屋一丁目1番7号

ホームページ <https://www.hicap.co.jp/>



HPはこちらです

代表取締役社長

こいけ まさひろ
小池 政弘



Close Up 「ひろぎんキャピタルパートナーズ」のセールスポイント

Point 1

エクイティファイナンスの
提供

当社は、エクイティ供給とハンズオンによる事業参画を主な事業としています。ハンズオンとは、出資者が投資先企業の経営に直接関与することを指します。当社はこのハンズオンを通して、株主として経営者と同じ目線に立って経営に参画します。投資先企業と一心同体となり、可能な限り企業価値を向上させることを目標としています。

当社事業は、ひろぎんグループが提供する究極のソリューションの一つです。当社の機能が、様々な課題を抱える企業に対する解決策の触媒となることで、ひろぎんグループのソリュー

Point 2

ハンズオン支援の
実践

ションビジネスを飛躍的に発展させることを目指しています。

当社は2020年4月に設立されたばかりの会社ではありますが、ゲームチェンジャーの気持ちを忘れず、積極的な投資およびハンズオンによる「伴走型支援を超えた支援」の提供を実現してまいります。

今後は広島県を中心として、投資先企業の価値向上を一社一社積み重ねていくことで、中四国地方全体のバリューアップに繋げ、投資会社としての枠組みを超えた地方創生へと繋げていきたいと考えております。

Point 3

地域課題の
解決に向けた取組み

Voice 地域のエクイティニーズへ幅広く対応

当社は、従来の銀行では取組みが難しかった「新たな事業領域への参画」や「マネジメント領域まで踏み込んだ支援」を行うことを目的として設立されました。

ひろぎんグループの中で率先して新しいことに挑戦する組織風土を確立していくとともに、これまで対応できなかった地域のエクイティニーズに幅広く対応していくことで、地域企業の課題解決に1社でも多く携わり、地域経済の活性化に貢献していきたいと考えております。

マネージャー 竿尾 正隆



お客さまに選ばれるベストパートナーへ

ひろぎんリース



瀬戸内地域トップクラスのリース会社として高品質なサービスを提供し、
お客さまの課題解決のお手伝いをしてまいります。

設立日 1980年10月17日 本店所在地 広島市中区本通7番19号

ホームページ <https://www.hiroginlease.co.jp/>



HPはこちらです

代表取締役社長

あらき ゆうそう
荒木 裕三



Close Up 「ひろぎんリース」のセールスポイント

Point 1

リースならではの
ソリューション提案力

Point 2

モノに関する
目利き力

Point 3

常に顧客本位にたち
信頼される人財

ひろぎんリースは、1980年に「ひろぎんグループ」として設立された瀬戸内地域トップクラスのリース会社です。ひろぎんグループの営業エリアを中心に、広島市に本社をおき、広島県内に3支店と山口県・岡山県に各1支店、愛媛県に駐在所を1か所設置し、全7拠点で営業を展開しております。

当社は、お客さまへリース・割賦販売を中心としたソリューションの提供を行っており、取り扱う物件は、自動車を始め、情報通信機器、輸送用機器、産業工作機械、医療機器、土木建設機械、サービス業用機器等に加え、再生エネルギーや発電設備など多岐にわたっております。

加えてお客さまニーズに応え、アライアンス先との連携による海

外現地法人向けのリース・ファイナンスの提供や医療機器および産業工作機械について中古売買の紹介も実施しております。

また、当社の営業エリアには、自動車、鉄鋼、造船などモノづくり（製造業）の産業が集積しているため、営業戦略として製造業へ向けたリレーションおよびソリューションの取組強化を図っております。併せて重点分野として、上記の製造業分野を含め医療分野、環境分野についても強化を図り推進しております。これからもひろぎんリースでは、地域社会やお客さまが抱える様々な課題の解決に向け、お客さまに寄り添った「マーケットイン」の精神で〈地域総合サービスグループ〉の一員として、地域社会の豊かな未来の創造に貢献してまいります。

Voice 設備のことならなんでもお任せください

当社が取り扱う「リース」は、金融的側面（設備投資の際の資金調達機能）が強いことから、以前より広島銀行とは連携した事業活動を展開してまいりました。

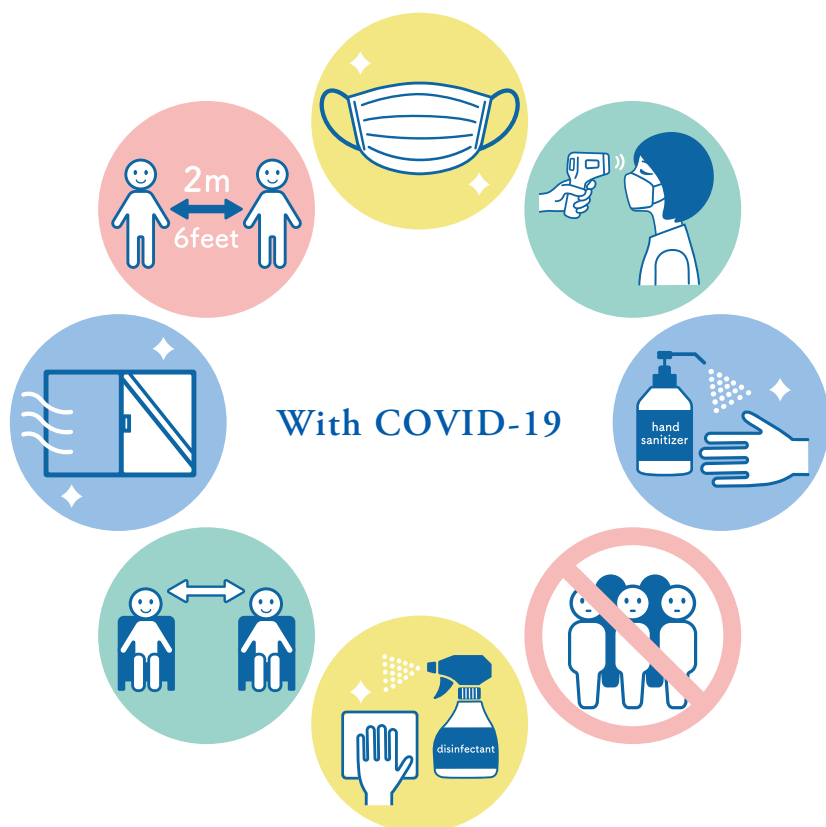
この度の持株会社体制への移行は、連携の軸をお客さまの方向にしっかりと向け、お客さまが抱える様々な課題の解決に向けた新たな連携のステージを実現させるものです。リースを通じ、より一層お役に立てるよう、当社の強みであるモノに関する目利き力を活かしたサービスをこれからも提供してまいります。

本社営業部 貫目 涼介



新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症が全国に拡大するなか、ひろぎんグループは、社会機能の維持に不可欠なインフラとして、お取引先の資金繰り支援を始め、地域の経済活動をサポートする役割を担っており、業務継続を基本として対応してきました。何よりも「お客さまおよび従事者の健康と人命保護」を最優先とし、私たちは何ができるのかを常に考え、以下の対応を行いました。



お客さまへのご支援

- 「融資相談窓口（休日含む）」の設置
- 「新型コロナウイルス対応特別融資」（上限10億円、据置期間最大5年）の取扱い
- 「実質無利子融資制度」の取扱い
- 融資関連手数料の一部無料化（融資条件変更手数料等）
- お取引先に対する商品販売支援（即売会の実施・お取引先（購入希望先）の紹介）
- ファンドを通じたエクイティ支援

お客さま・従事者の安全・安心のために

- 従事者にマスク着用の徹底
- 全店にアクリル板・ビニールシートを設置（飛沫感染予防対策）
- 営業店内備品等の定期的な消毒
- 本部でのスプリットオペレーション（分散勤務）実施
- 時差出勤やリモートワークの促進

株主総会への対応

- 会場の座席の間隔を広げ、ソーシャルディスタンスを確保
- ご来場時に検温（サーモグラフィー等）を実施
- 会場にご来場いただけない株主さまのために、総会の様子をインターネットでライブ配信

これからも地域の皆さまと従事者の安全に配慮した企業活動を続けてまいります。

SDGs/ESGへのこれまで

〈ひろぎんグループ〉は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、付加価値の高い地域総合サービスの提供を通じて、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2019年7月

統合報告書を発行

2010

E

nvironment

環境

2010年～

「ひろぎんの里山」における植樹・整備活動

郷土の豊かな自然環境の保護に向け、「ひろぎんの里山」において、役職員による苗木の植樹・森林整備活動を実施。



地方銀行64行が加盟する「日本の森を守る地方銀行有志の会」に設立当初から参加。

2018年～

S&P/JPX

カーボン・エフィシエント指数に選定



2016年4月

せとうちDMO※への参画

クルーズ船の造船や、古民家の宿泊施設等への改修等、観光関連事業者のプロダクト開発や事業拡大を支援。

瀬戸内地域の
観光産業活性化に向け、
連携を強化。



※ DMO：観光地を活性化させ、地域全体を一体にマネジメントしていく法人

2017年～

MSCI日本株女性活躍指数に選定

2018年2月

私募REITの組成

2018年10月

瀬戸内ブランドコーポレーション※が
ヒルトンホテルの運営受託契約を締結

※ 瀬戸内ブランドコーポレーション：広島銀行を含む19の金融機関と27の事業会社が出資する法人

2019年2月・2020年3月

健康経営優良法人に選定

G

overnance

ガバナンス

2015年6月

社外取締役(女性)1名選任
取締役会の員数削減・任期1年化

2015年12月

指名・報酬諮問委員会の設置

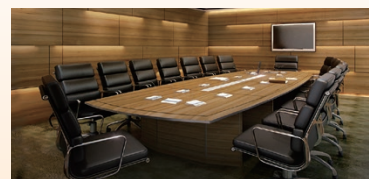
2016年6月

社外取締役1名増員

2017年6月

取締役・執行役員に対する株式報酬制度の導入

役員報酬と広島銀行株の連動性を明確にし、広島銀行の中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意識を高めることを目的として導入。



の取組み

2019年9月

〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言の公表

付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献していくため、2019年9月に〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言を公表しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2020

2019年2月～

〈ひろぎん〉無通帳口座“スマートe”取扱開始

2019年9月

グリーンボンドへの投資

独立行政法人住宅金融支援機構が発行する「住宅金融機構グリーンボンド」の購入。

→「省エネルギー性能の高い住宅」の更なる普及に寄与



2020年3月

TCFD提言への賛同を表明

気候変動に関する対応強化および気候関連のリスク・機会に関する情報開示の充実に向け、賛同を表明。

気候関連財務情報開示タスクフォース



2020年8月

「環境・社会課題の解決に向けた投融資方針」の公表

2021年2月（予定）

環境に配慮した「新本店ビル」竣工

2019年5月

広島オープンアクセラレーターの募集開始



2019年9月

ESG金融促進事業への採択

2020年1月

SDGs取組支援サービスの取扱開始

お取引先のSDGsへの取組状況を確認し、その結果をフィードバックするとともに、各社専用の“SDGs宣言”の策定を支援。

● 取扱件数（2020年1月～9月実績）105件

2020年4月

広島大学初の認定ファンドへの出資

広島大学をはじめとして、広島県内の大学が有する研究シーズを起点とするベンチャー企業を支援するファンドへの出資。

2020年7月

ひろぎんキャピタルパートナーズによるファンド組成（事業再生・事業承継・ベンチャー）



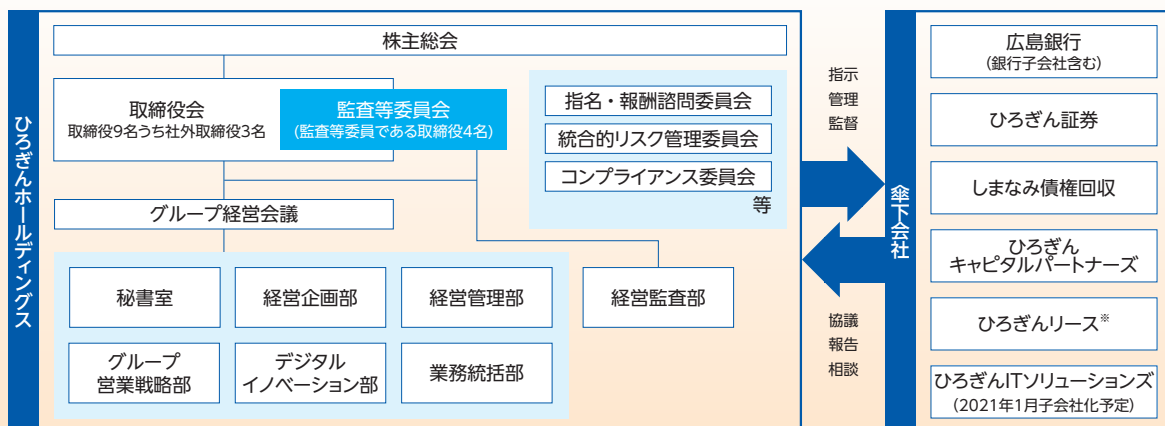
2020年7月

Fuku-Biz、Hi-Bizと「業務連携・協力に関する覚書」締結

2020年10月

持株会社体制へ移行

ひろぎんホールディングスを監査等委員会設置会社とし、ガバナンスの強化・迅速かつ効率的な意思決定を図るとともに、経営管理・監督に特化させることにより、実効性の高いグループガバナンス体制の構築を実現。



※ 持分法適用関連会社

株主優待制度について

株主優待制度導入の目的

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入することとしました。

株主優待制度の概要

広島銀行

- ・対象となる株主さまには優待券を送付。
- ・優待券1枚につき以下の4つのコースの中から、おひとつご選択いただけます。

コース名	コースの概要
① 定期預金コース	定期預金1年ものお預入れについて、初回満期日まで上乗せ金利を適用します。
② 投資信託コース	各お取引にかかる手数料累計額（税抜）の20%をキャッシュバックいたします。 （キャッシュバックの上限 2万円）
③ 相続関連サービスコース	
④ ひろぎん証券関連取引コース	

株主優待制度の対象となる株主さまに対し、公益財団法人ひろしま美術館の招待券を2枚贈呈。

（注）2020年3月31日を基準日とする株式会社広島銀行の株主優待制度については、引き続き2021年6月30日までご利用いただけます。

ひろぎんホールディングス

New

- 基準日** 2021年3月31日を第1回基準日とし、以降、毎年3月31日を基準日とします（年1回）。
- 対象となる株主さま** 基準日時点の当社の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主さまを対象とします。
- 優待制度の内容** 対象となる株主さまは、以下の①、②および③の優待制度をご利用いただけます。

① 選択コース

コース名		保有株式数		
		100株以上1,000株未満	1,000株以上5,000株未満	5,000株以上
定期預金	優待内容 ^{*1}	店頭表示金利+0.05%	店頭表示金利+0.10%	店頭表示金利+0.20%
	預入期間	1年	1年	1年
	上限金額	500万円	500万円	500万円
地元特産品 カタログギフト	優待内容 ^{*2}	2,500円相当の商品	5,000円相当の商品	10,000円相当の商品

（※1）上乗せ金利の対象となる商品はスーパー定期またはスーパー定期300です。上乗せ金利はいずれも年率かつ税引き前となります。

（※2）優待内容に諸経費を含みます。

② 招待券贈呈

- ・公益財団法人ひろしま美術館の招待券を2枚贈呈いたします。

③ 広島3大プロ観戦・鑑賞チケットの抽選権付与

- ・ご応募いただきました株主さまの中から抽選で、「広島東洋カープ」、「サンフレッチェ広島」、「広島交響楽団」の観戦・鑑賞ペアチケットを贈呈いたします。
- ・当選者数および観戦・鑑賞できる試合・公演等は以下の通りです。

コース名	当選者数	招待席	第1回基準日における当選予定の試合・公演
広島東洋カープ	10組20名さま	内野指定席 ^{*1}	2022年シーズンのホームゲーム ^{*2}
サンフレッチェ広島	50組100名さま	SS指定席	2022年シーズンのホームゲーム ^{*2}
広島交響楽団	50組100名さま	S指定席	2022年度中の広島交響楽団主催の公演 ^{*3}

（※1）当社が保有する年間指定席を贈呈いたします

（※2）当社が指定する試合となります

（※3）当該期間中に開催予定の公演から株主さまにご指定いただきます

（注1）上記は2020年10月1日時点で予定している内容であり、今後、優待内容等については、見直しとなる可能性があります。また、広島3大プロ観戦・鑑賞チケット抽選における招待数および招待席に関しましては、新型コロナウイルス感染症等の影響により、試合数および公演数の変更ならびに収容来場客数の変更等があった場合には、ご案内できない可能性があります。

（注2）株主優待制度の詳細につきましては、改めて、ホームページ等でご案内いたします。

配 当 に つ い て

配当の基本的な考え方

当社は、地域総合サービスグループとして地域社会やお客さまのあらゆる課題解決に徹底的に取り組み、地域の持続的成長に貢献していくため、株主還元とともに内部留保の充実にも意を用い、「安定配当金」に加えて、親会社株主に帰属する当期純利益に応じた「業績連動型の配当金」を実施してまいります。

また、内部留保につきましては、効率的な運用を行うことで、経営基盤の拡充や経営体質の一層の強化を図ってまいりたいと考えております。



安定配当金 安定的な配当の実施の観点から、1株当たり年18円を支払います。

業績連動型の配当金 親会社株主に帰属する当期純利益に連動した配当金を支払います。

配当目安テーブル

親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たりの配当金額（円）			連結配当性向
	① 安定配当	② 業績連動配当	① + ②	
330億円超～	18	18	36	～34.1%未満
300億円超～330億円以下		15	33	31.2%以上～34.4%未満
270億円超～300億円以下		12	30	31.2%以上～34.7%未満
240億円超～270億円以下		9	27	31.2%以上～35.1%未満
210億円超～240億円以下		6	24	31.2%以上～35.7%未満
180億円超～210億円以下		3	21	31.2%以上～36.4%未満
～180億円以下		0	18	31.2%以上～

適用開始

2021年3月期の期末配当より適用いたします。

株 式 に 関 す る 手 続 き に つ い て

証券コード 7337

株式事務のご案内

決算日	毎年3月31日
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内に開催いたします
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う。 https://www.hirogin-hd.co.jp/ir/library/e-publicnotice/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞および広島市において発行する中国新聞に掲載する方法により行う。

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料） 住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、以下のとおりとなります。 ● 証券会社等の口座に記録された株式 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 ● 特別口座（三菱UFJ信託銀行の口座）に 記録された株式 上記の三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。 ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本 支店でお支払いいたします。
各種お手続きについて	

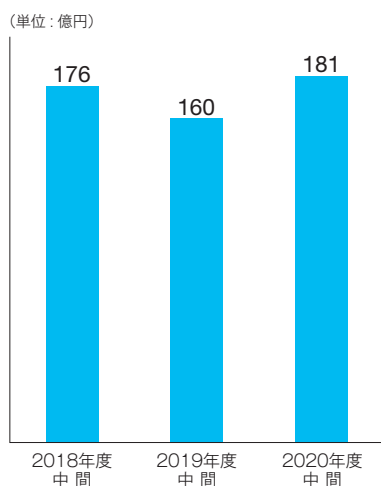
2020年度中間期決算について

※ 広島銀行の中間期決算となります。

損益の状況

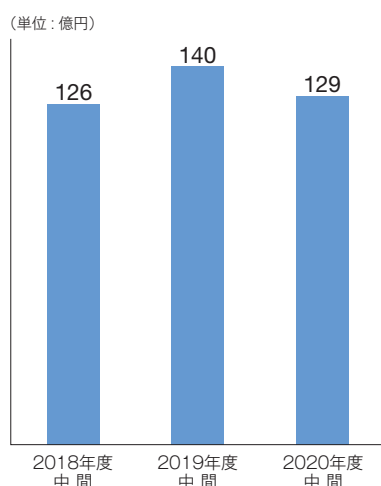
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)

181億円
(前年同期比 +21億円)



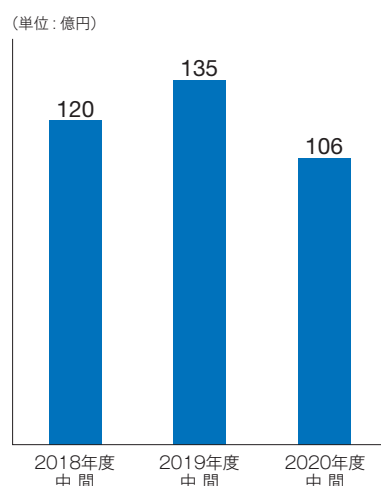
中間純利益

129億円
(前年同期比 △11億円)



親会社株主に帰属する中間純利益

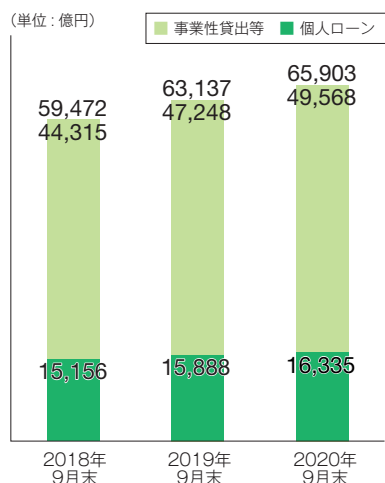
106億円
(前年同期比 △29億円)



貸出金の状況

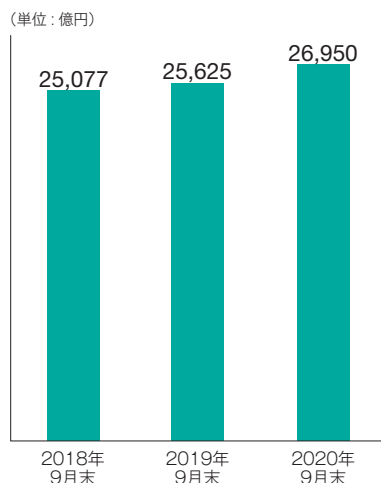
貸出金残高

65,903億円
(2019年9月末比 +2,766億円)



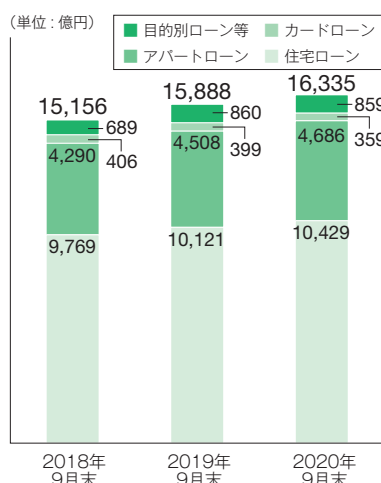
中小企業向け貸出金残高

26,950億円
(2019年9月末比 +1,325億円)



個人ローン残高

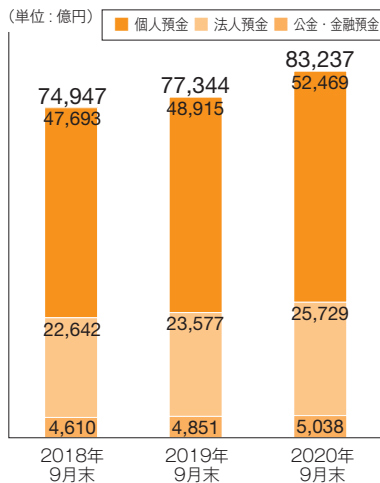
16,335億円
(2019年9月末比 +447億円)



預金等の状況

預金等残高

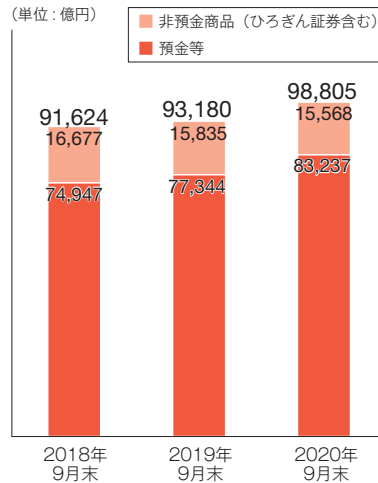
83,237 億円
(2019年9月末比 +5,893億円)



※ 預金等は、譲渡性預金を含んでいます。

総預り資産残高 (ひろぎん証券含む)

98,805 億円
(2019年9月末比 +5,625億円)



※ ひろぎん証券の非預金商品残高は時価ベースです。

用語解説

コア業務純益

一般企業の「営業利益」に近い「業務純益」から特殊要因で変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券関係損益」の影響を除いたものであり、より実質的な銀行本来の業務による収益力を表しています。

「コア業務純益」＝「業務純益」＋「一般貸倒引当金繰入額」－「国債等債券関係損益」

自己資本比率

銀行が保有する資産に対する自己資本の割合で、経営の健全性・安全性を表す重要な指標です。国内基準対象行には4%以上であることが義務づけられています。

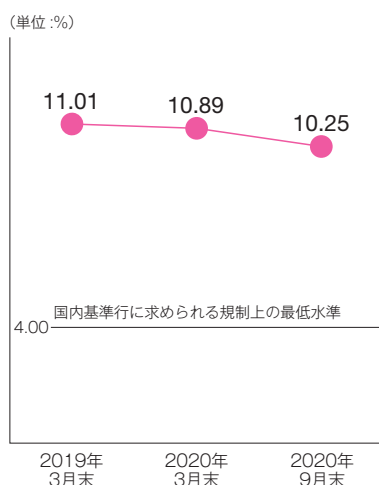
不良債権比率

金融再生法に基づく「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」の合計額の、銀行の与信額全体（「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」に「正常債権」を加えたもの）に占める割合として表されます。

自己資本比率の状況

連結自己資本比率

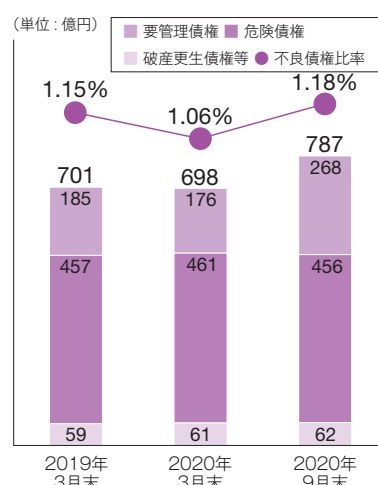
10.25%
(2020年3月末比 △0.64ポイント)



金融再生法開示債権額の状況

不良債権比率

1.18%
(2020年3月末比 +0.12ポイント)



※ 金融再生法開示債権額は、単位未満を四捨五入して表示しています。

広島銀行グループは、 「ひろぎんホールディングス」へ。

私たちは、お客さまに寄り添い、声に耳を傾け、
真に信頼される〈地域総合サービスグループ〉として
お客さまとともに、この地域の未来をひろげます。



広島銀行 | ひろぎん証券 | しまなみ債権回収 | ひろぎんキャピタルパートナーズ | ひろぎんリース※

※持分法適用関連会社（2020年10月1日現在）[2012]



証券コード
7337

◎発行：2020年12月
◎編集：株式会社ひろぎんホールディングス
経営企画部 経営企画グループ 広報・地域貢献室
〒732-0804 広島市南区西蟹屋一丁目1番7号
TEL (082) 245-5151

